

本格的な雨の季節です！

命を守るため、災害に備えましょう

市 防災危機管理課 ☎53-5161 53-5149

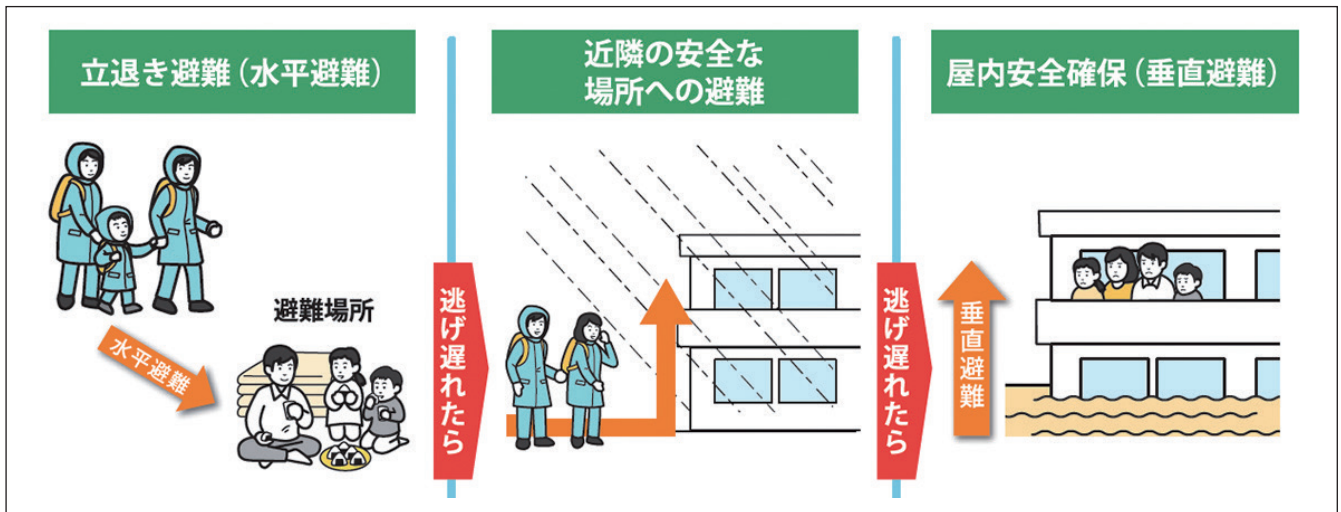
大雨・土砂災害は「いつ」、「誰の身に」起きてもおかしくありません

近年、全国各地で大雨による災害が頻発しており、もはや大雨・土砂災害は誰にとっても他人事ではありません。土砂災害や河川の氾濫は、集中豪雨や急激な河川の増水によって突然発生します。特に土砂災害は、万が一逃げ遅れてしまった場合など、命に関わる大変危険な災害です。ご自身や大切な人の命を守るためにも、まずは自宅や職場の周辺にどのような災害リスクがあるか、防災ハザードマップで確認しておきましょう。



▲ハザードマップはこちら

避難情報が発表されたら、ためらわずに避難を！



市では、災害発生のおそれが高まった場合、必要に応じて避難情報(高齢者等避難・避難指示等)を発令します。避難情報が発令された場合、**立退き避難(水平避難)**として広域避難所や自治会避難場所、親戚・知人宅など安全な場所へ避難してください。万が一逃げ遅れた場合は、**近隣の安全な場所へ避難**しましょう。すでに危険が迫っていて避難が困難な場合は、**屋内安全確保(垂直避難)**を行ってください。建物の2階以上や山・崖から離れた部屋へ移動するなど、できる限り命が助かる行動をとりましょう。

気象情報を利用して「早めの判断」を

避難情報は受け身で待つだけでなく、**自ら情報収集することが大切**です。テレビ・ラジオなどによる気象情報や気象庁「キキクル(危険度分布)」、市防災アプリ・伊吹山テレビなどを活用し、危険が高まる前に行動しましょう。

また、気象庁では、5月末から新たな気象情報の運用が開始されます。新たな運用では、警報等の名称の統一や警戒レベルをあわせて発表することで災害発生の危険度と取るべき行動(避難等)がわかりやすくなります。詳しくは広報まいばら5月号をご覧ください。

広報まいばら5月号は
こちらから
ご覧ください! ▼



積極的に防災訓練に参加しましょう!

自治会で実施される防災訓練や、市が実施する総合防災訓練・避難所開設訓練に積極的に参加しましょう。訓練を通じて、避難経路や避難所での行動を実際に経験しておくことが大切です。

市が実施する訓練の日程など詳細は、後日改めて広報まいばらなどでお知らせします。
画像は昨年実施した避難所開設訓練の様子▶

